

PEACE

杉並区立高南中学校
第3学年通信
令和4年7月9日
第14号

1 学期の学校生活の様子

SNS 利用時「必要なのは、知恵を磨く、心を磨く+勇気」



6月21日(火) 5, 6校時 セーフティ教室 講師は●●教諭
全学年で SNS の利用についての話を聞き、意見交換をして考えを深めました。
これを機会にお家でも今後の SNS 利用について話し合ってみましょう。



校内研修会 6月22日(水) 5校時 3年A組 ●●教諭の英語
高南中学校の先生方が参観されました。
今年度も自分のおすすめの旅のプランを考えて、旅のしおり作りを始めました。
少しずつ書く力をつけて、しおりを完成し、3月には KONAN GLOBAL GATEWAY (物のやりとりをしながら会話中心の英語の授業) の時に実際に旅行代理店でプレゼン予定です。



●●教諭の理科

6月30日(木) 6校時 (高南中生が下校した後) …小学生の高南中学校授業体験 次は夏休み(8月1日の週)に部活動体験を実施する予定です。



3年B組 ●●教諭の国語

7月6日(水) 小中合同研修会 杉並第三小学校と杉並第十小学校の先生方が高南中学校の授業を参観されました。



7月7日(木) 6校時 総合 進路指導主任 ●●教諭の進路学習
具体的な入試のしくみや今後の流れについて学習しました。これからよく使われる進路関係の用語について分からない時は第一回進路説明会の冊子(P13)、推薦については「本校の推薦する生徒について」(P19)で確認しましょう。

運動会、修学旅行の思い出②

修学旅行で学んだこと

個人情報につき消去しています。

しとしと、雨が優しく降った日に僕たちは京都、奈良に行き、いろいろなことを学んだ。

始めは、行動班で見学先の計画をすることです。僕たちの班は全員で6人の班員がいます。二日間の見学地への行き方や、どの電車、バスに乗るかなどたくさんのことを調べなければいけません。そこで僕たちは班員全員で協力したところ、2、3時間で終わりました。何が言いたいかというと、6人全員で協力して頑張れば、1人、2人では大変なことでも楽にいるということです。このことから、僕は班員の大切さや大事さ、全員で協力し合う大切さを学びました。

次に、ますや旅館で食事をする時に黙食もすることです。僕たちは、朝ご飯と夜ご飯を含め合計4回の食事をしました。修学旅行が終わって翌日の学年集会で●●先生が旅館の人に言われたことを教えてくれました。その内容は、黙食が全くできていないので、怒鳴ろうかと思ったということです。僕は、その話を聞いてとても悔しい気持ちになりました。なぜなら、少し自分がしゃべってしまったのもあるし、友達がしゃべっているのを注意できなかったからです。今の時期コロナウィルスがあるので、マスクをはずす食事は黙食をしなければなりません。しかも、いつもしゃべっている人は同じ人たちで、そんな人たちを注意できなくてくやしいと思いました。なので、これからは、ルールやマナーをまず自分が守り、その次に守れてない人にしっかり注意をしたいです。

今でも修学旅行で学んだことは忘れません。学んだことを学校生活に活かしていきたいです。また機会があったら行きたいです。

運動会は素晴らしい

個人情報につき消去しています。

中学校生活最後の運動会は、敗北という形で幕を閉じました。ただ、あまり勝敗は大切だと思っていない。なぜなら、この運動会を通じて気付けたことが多く、そして何より楽しかったからです。

今年の運動会で印象に残っているのは、大縄跳び、大いかだ流し、そして全員リレーです。だから作文でもこの3つは絶対に欠かせないと思っていました。

自分が回し手として参加した大縄跳びでは校内1位という誇らしい結果を残すことができました。前半も後半も、およそ100回も跳ぶことができた裏には、疲れていてもクラス全員で必死に跳んだ事実があります。全員が諦めることなくクラスのために頑張れたのは、もちろんプレッシャーもあると思いますが、「3A」への信頼と敬意からなのではないでしょうか。これに気付いた瞬間、感動で耳がかゆくなりました。

大いかだ流しは本当にすごいと思いました。思い返してみると、最初から上手くいていたわけではありませんでした。しかし、そのあとの追い上げが早かったです。途中からはいわゆる圧勝になってしまいましたが、それでも我らがA組の大いかだにける熱は異常でした。●●先生のアドバイスや、それを生かそうとする皆の協力性なども、私の感動メーターをいっぱいにしていきました。

リレーは、そうです、最初は勝っていたのです。しかし、そのあと勝つことはありませんでした。しかし、勝てれば最高でしたが、最初にも書いた通り、勝つことはそれほど大切ではありません。大切ではないというか、勝利は二の次という感じです。勝つために協力して、考え、休み時間などにも練習したという経験は、今後のクラスの成長につながると思います。いや、絶対に生きてきます。出ないと勿体ないですし。

協力という2文字が目立つ行事で、新学年のスタートをこのような形で切れたことはとてもうれしいことです。個人としても、クラスとしても、学校としても成長できたのではないのでしょうか。私は何かしらの形で協力してくれた人に感謝したいと思っています。ただ、それがなかなか難しく大変なのです。私の成長もまだまだ続きそうです。